



メラだより

豊田自動織機シャトルズの
応援に来た皆さん



和と美

生きがいセンター(8月17日)



一年を通して行われる華道教室。自分で考えたテーマに合わせて花を選び、講師の先生からアドバイスをもらいながら作品を仕上げていきます。遠くから見てバランスなどを確認しながら、試行錯誤していました。時には、受講生同士で花を見せ合い、「この花の向きはこっちかな？」と相談しながら取り組む姿も見られました。

地域でつなぐ、伝統文化

野田八幡宮(8月26日)



300年以上の歴史を持つ市指定無形民俗文化財、野田雨乞笠おどりが行われました。揃いの衣装を身にまとい、2人1組の踊り手が雨乞唄に合わせて太鼓を打ち鳴らしながら踊る、趣ある祭りです。子どもから大人まで幅広い年齢の人たちが踊り、地域で大切に受け継がれています。

刈谷わんさか祭り2018

総合運動公園(8月17・18日)



前夜祭の市民盆おどり大会に始まり、200店以上の屋台と体験型アトラクションにより大変なにぎわいを見せた刈谷わんさか祭り。ステージショーでは、刈谷城盛上げ隊の演舞などが披露され、会場は大いに盛り上がりしました。夜には観光協会設立20周年を記念した仕掛け花火や、音楽に合わせて打ち上げられるスターライトシンフォニーなど、約7,000発の花火が刈谷の夜空を彩りました。